

今夏、ユネスコ世界遺産に登録されたばかりの群馬県の富岡製糸場が話題の観光スポットになっていると云う事で行ってきた。お盆には未だ早い平日の午前中だというのに入口にはすでに行列ができており、噂に違わない人気ぶりだった。其処へ行く道すがら、最寄りの駅や周辺の飲食店も綺麗に改装され、建物の壁には祝世界遺産登録の垂れ幕が随所に掲げられていた。この町も昨年までは、他の地方の自治体と同様に過疎化や若者離れが進んでいたのだろうが、それがこの賑わいに一変したのだから、世界遺産というレッテルの効果は絶大である。申請から決定に至るまで奔走された地元関係者の努力に敬意を表したい。

それにしても、空調の無い工場内を汗だくで見学を終えた後、門の近くで営業している老舗店の釜めしとビールの美味しかった事、今こちらの方が鮮明に記憶に残っていると云う事はどういうことであろうか……。(A.N)

今月号からRaisersの編集に携わることになりました。日頃当たり前のように通信サービスを受けていますが、私たちの生活は現場で作業しておられる方々の努力と技術の上に成り立っています。

冷夏のはずが猛暑となった今年の夏、現場では大変な思いで作業されていると思います。

通信建設の分野で日本を支えていらっしゃる方々に、少しでも役立つ記事を提供していきたいと思

ます。よろしくお願いいたします。(M.K)

最近、カレーソースのことを“ルー”と呼ぶ人が多くなったような気がしており、カレー好きとしては残念な気分です。

そもそも“ルー”とは、インスタントカレーで言えば板チョコ状のTVCMでよく見かける材料のことだし、手作りカレーで言えば小麦粉や各種スパイスを食用油やバターで炒めたベースとなる材料のことで、ライスの上にかけるカレーそのもののことではありません。

一方、“カレー”と言う言葉には“カレーライス”のことまで包含したような印象があり、そうではないんだ、ライスの上にかかっているモノのことを言いたいんだという差別化したい意識が働き、あえて“カレー”を使わず“ルー”と言ってしまっているのではないかなと勝手に原因究明しているところです。

その“ライスの上にかかっているもの”ですが、私は“カレー”で十分だと思うし、強いて言えば“カレーソース”という言い方もあります。

言葉は生き物だから変化するのが当たり前という言語学者もいらっしゃいますが、明らかな誤用による言葉の変化・定着は、その言葉の深みを減じてしまうような気がして、あまり許容したくないところです。これはどの分野のどのような言葉であっても同様であり、言葉はできるだけ大切にしていきたいものだと思います。(Y.H)

### こんな時が危ない!

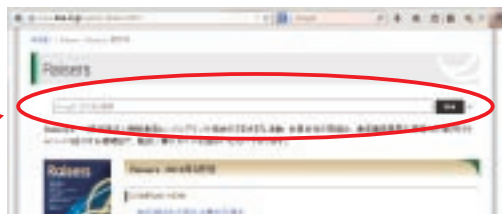
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

### 「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第 62 巻 第 5 号(通巻第708号) 平成 26 年 9 月 5 日印刷 平成 26 年 9 月 10 日発行

定価 648 円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)